

ひなの国九州

平戸市・佐賀市・飯塚市・柳川市
八女市・日田市・中津市・杵築市
人吉市・綾町・鹿児島市

「ひなの国九州」（九州のひなまつり広域振興協議会）は、九州全土で行われている観光促進事業の一つ。例年、二月から四月までの二カ月間、それぞれの地域で、ひな祭りにちなんだ特色ある観光イベントが繰り広げられる。2008年のイベント開催地は、11地域。

1998年から2000年までは、吉井・柳川・八女・日

田の各地が、それぞれ独自にひなまつり関連のイベントを開催していた。それが結果的に、各地域による観光客の取り合いになる状況を憂慮し、九州全体で、観光誘致を実施していこうという動きになっていく。九州観光誘致促進会議、九州観光推進機構などの協力を得て、九州7県の観光地がすべて賛同し、観光促進事業として、ひなまつりイベントを連携させた。2003

年、九州のひなまつり広域振興協議会が発足し、九州全体の事業として磐石な基盤ができたことで、今後の事業の拡大と更なる充実に期待が持てる。

11地域として、合同パンフレット・ポスターの作成、割引特典や、スタンプラリーが行われる。各地にはそれぞれ、歴史のある雛の展示があり、見所も豊富である。



本誌では、イベントの中盤ごろの3月3日から5日まで北部九州を主に、飯塚・八女・柳川・日田・杵築取材。商店街や地元の人形店とイベントの関わり、その効果などを中心にインタビューを行った。

取材協力
福田喜作氏(株フジキ工芸産業)
佐野均次氏(株タルミ)

取材先概要（取材順） 総人口は2008年6月現在の統計

飯塚市「筑前いつか雛（ひいな）のまつり」

総人口約13.4万人、県内4番目の人口規模の都市。筑豊炭田の発掘が盛んな明治期は全国各地から炭坑労働者が移住し、人口が急増。戦後、炭鉱の閉山により急激な過疎化が進んだが、近年、近畿大学や九州工業大学が飯塚キャンパスや附属高等学校などを設置したことにより、人口は増加傾向にある。炭鉱跡地には工業団地を造成し、製造業の誘致、経特区の指定を受け、先端産業の育成などを図っている。

詳しくは36～37ページを参照。

八女市「雛の里・八女ほんぼりまつり」

城下町として栄え、八女福島仏壇、八女提灯などの伝統的工芸品（経済産業省大臣指定）をはじめ、和紙、玉露、餅、電照菊など特産品が多数ある、手工芸と農芸の都市。総人口は約4.2万人。2010年までに周辺4町村との合併を目指しており、合併すれば人口は7.1万人に増加する見込み。江戸末期につくられた「居蔵」と呼ばれる妻入母屋大壁塗込造りを基本とする、土蔵造りの町家建築（通称白壁通り）は重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

1997年より同祭を開催。白壁通りの福島地区を中心に、100箇所以上でひなが公開される。各家庭で受け継がれてきた、置き上げ雛や箱雛など、素朴な味わいのある雛も見られる。

柳川市「柳川雛祭りさげもんめぐり」

有明海に面し、市内を470kmの掘割が縦横に流れる総人口約7.3万人の水の都。海苔の養殖が盛んで、ムツゴロウ、マテ貝など有明海ならではの魚介類も有名。鰻のセイロ蒸しも名物の一つ。女の子の節句を盛大に祝う風習があり、初節句の家はひな飾りを近隣に公開し、ともに祝う習わしがある。

同祭は、1995年から実施。川下りと「さげもん」をメインとしている。期間中の週末ごとにはさまざまな催しがあり、商店街や旅館でも特別メニューを用意するなど、市全体の観光イベントとして定着。また、初節句を迎える家庭に依頼して、ひな人形を公開してもらうなど、昔ながらの祭りの形態も披露。

日田市「天領日田おひなまつり」

総人口約7.3万人。徳川幕府の天領であり、繁栄を極めた。林業が盛んで、日田杉を利用した下駄や漆器などの木工業が行われている。江戸時代西国筋郡代の役所が置かれ繁栄し、豪商たちが活躍、町人文化が花開いた。近年はTDKやサッポロビールなどが進出している。江戸から明治までの建物が残る豆田町は、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

詳しくは38～39ページを参照。



イヅカコスモスコモンの享保雛



旧伊藤伝衛門邸



個人宅に飾られた置き上げ雛（上）と福島地区の町並み（下）



かんぼの宿柳川の雛とさげもん



川下り



豆田町界限

しょうゆの老舗、日田醤油の雛



サンドイッチ型を象徴する酢屋坂(下)と鉞絵(右)



佐野家の雛(左)と
杵築城(左)と



杵築市「城下町杵築散策とひいな(雛)めぐり」

総人口約 3.3 万人。別府湾を望み、守江湾を有する風光明媚な町。杵築城を中心に南北の高台に武家屋敷があり、その谷間に商人の町が挟まれているという、凹凸のある“サンドイッチ型”城下町。また、昔の踊りが残る盆踊りの盛んな地域としても知られている。みかんや日本酒が特産品。民家の妻壁や戸袋には鉞絵が描かれており、その数は全国有数を誇る。

同祭りは武家屋敷や老舗商家を巡りながら、町並みも楽しめる。松平家所縁の古今雛や、藩医だった佐野家の雛、杵築ふるさと産業館の竹雛など、21 会場で多彩な雛が見られる。「ひいなめぐり号」というタクシーを使っでの散策も可能。

その他の祭り

「人吉球磨は、ひなまつり(人吉市)」、「薩摩のひなまつり(薩摩市)」、「平戸温泉・城下雛まつり(平戸市)」、「佐賀城下ひなまつり(佐賀市)」、「綾ひな山まつり(綾町)」、「城下町中津のひなまつり(中津市)」

問合せ先 九州のひなまつり広域振興協議会 事務局

人吉市麓町 16 番地 人吉市観光振興課内 TEL0966-22-5610

2008 年 「ひなの国 九州」 祭り日程一覧 (開催順) www.welcomekyushu.jp

まつり名	1月	2月	3月	4月	
人吉球磨は、ひなまつり (熊本県)		2/1 (金)~ 3/31 (月)			人吉市観光案内所 0966-22-2411
薩摩のひなまつり (鹿児島県)		2/2 (土)~ 4/24 (木)			仙巖園 (株)島津工業 099-247-1551 (代)
城下町杵築散策とひいな(雛)めぐり (大分県)		2/9 (土)~ 3/9 (日)			杵築市観光協会 0978-62-3131
筑前いづか雛(ひいな)のまつり (福岡県)		2/9 (土)~ 3/3 (月)			飯塚商工会議所 0948-22-1007
柳川雛祭りさげもんめぐり (福岡県)		2/11 (祝)~ 4/3 (木)			柳川市観光協会 0944-73-2145
天領日田おひなまつり (大分県)		2/15 (金)~ 3/31 (月)			(社)日田市観光協会 0973-22-2036
平戸温泉・城下雛まつり (長崎県)		2/15 (金)~ 4/3 (木)			(社)平戸観光協会 0950-23-8600
佐賀城下ひなまつり (佐賀県)		2/16 (土)~ 3/31 (月)			(社)佐賀観光協会 0952-20-2200
綾ひな山まつり (宮崎県)		2/23 (土)~ 3/3 (月)			綾町商工会 0985-77-0017
城下町中津のひなまつり (大分県)		2/23 (土)~ 3/9 (日)			中津市産業振興部観光商業課 0979-22-1111
雛の里・八女ぼんぼりまつり (福岡県)		3/1 (土)~ 3/31 (月)			八女市商工観光課 0943-23-1596

福岡県

飯塚市

「筑前いづか雛のまつり」ひいな

商店街のおかみさんが力を合わせた手づくりのまつり

飯塚に所縁のある神功皇后の人形



寒い地域に見られる、あさつきを添えた飾り方も紹介



女性の「変わり三人仕丁」(左)、中央がおかめ顔の「三人官女」(右)などユニークなものも



年代物の羽子板各種



来場者もおひなさまになれる「生き雛コーナー」



雅びな親王飾り(上)から人形遊び用の寝具(下)まで展示

▲イヅカコスモスコモン

飯塚市では「第8回筑前いづか雛ひいな」のまつりを開催(平成20年2月9日(土)〜3月3日(月))。旧長崎街道中心商店街全体のおかみさんたちの協力によるまつりで、メイン会場のイヅカコスモスコモンには、享保雛や古今雛を始め、地域に所縁のある神功皇后の人形やおきあげ雛(押絵雛)、京都の稚児雛、大阪の竹田人形、岩槻の袴雛、羽子板など数百体の人形や道具類が一堂に展示された。また、筑豊炭田の炭鉱主の旧伊藤伝右衛門邸、大衆演劇の芝居小屋嘉穂劇場などでも、掛軸雛やおきあげ雛などを公開。

商店街の各店でも、市民提供によるひな人形がショーウィンドウを彩り、ひなまつり一色に。また、市内の吊るし飾り教室の作品も多数展示され、華やかさを添えた。商店街の各スポットには案内所が設けられ、観光客の問い合わせなどにスタッフが細かく対応。期間中、イヅカコスモスコモンほか各商店街を巡るスタンプラリーや「お雛様行列」のイベントも実施。市内を巡るツアープランが好評で、今年も過去最多の37万人が来場した。



精肉店の店先にもひな人形



この時期、中心商店街エリアは「ひなまつり」一色に

商店街の各スポットにある案内所には、まつりを支えるスタッフが常駐



市内で盛んな「吊るし飾り」教室の作品展も開催された

▲中心商店街エリア

人形店に聞くと！



(有)恵比須屋 (飯塚市本町15-3)

大前光信社長

「まずは行動を起こすこと。まつりを楽しみながら、「飾り」の裾野を広げたい」

商店街でのひなまつりとして、人形の展示は15年ぐらい前に始めました。その後、展示品や参加者が増え、市と商工会議所のバックアップも受けるようになって発展しました。今は私ども人形店は間に入らず、商店街やボランティアの方々を中心に運営されています。

メイン会場のイツカコスモスコモンを中心に、毎年テーマを掲げた展示を行っています。入場料金は無料です。商店街の各店にも、市内で募ったさまざまな人形が飾られています。

当店に寄って下さる観光客さんのなかに

は、「気に入ったお人形に出会えた」とご購入下さる方もあれば、「買ってあげても一度しか飾ってもらえなかった」という一言によって、他のお客さまがためらう場合もあったりと、商売への影響はさまざま。

でも、イベントなど、何か行動を起こすことはいいことだと思います。

こちらでは「吊るし飾り」の風習はなかったのですが、ひなまつりのイベントをきっかけに特徴を持たせようと、6年前から教室が開かれてにぎわっています。まつりに参加し、楽しみながら、飾りの裾野を広げていきたいと思っています。

大分県

日田市

「天領日田おひなまつり」

豪商らの贅を尽くした雛各種と“おきあげ雛”の競演



老舗商店などが所蔵するひな人形も華やかに展示される



廣瀬資料館所蔵の内裏雛（上・下）
〈江戸時代〉



日田醤油所蔵の内裏雛（江戸時代）



資料館や商店が立ち並ぶ豆田地区



豪勢な段飾り(左)や押絵で作られたおきあげ雛(右)など、さまざまなひな飾りを公開

▲豆田地区

また、豆田地区と隈地区の間に位置し、JR日田駅そばの日田市中央商店街にて、今年初めて「雛・春まつり」を開催（2月15日（金）～3月10日（月））。商店街の空き店舗に市民から募ったひな人形を飾り、お茶のセルフサービスコーナーも設け、買い物客や観光客の休憩＆憩いの場を提供。「空き店舗の活用とにぎわいづくりのため、石松人形店さんに協力頂いて企画しました。観光客の方や、展示用の人形を提供された市民の方も喜んで訪れて下さいました。来年も開催予定です」と同商店街振興組合の池永三喜男氏。

日田市では「天領日田おひなまつり」を開催（平成20年2月15日（金）～3月31日（月））。幕府直轄領（天領）として栄えた日田では、二十年以上前よりこのまつりを開き、贅を尽くしたひな人形や郷土色豊かなおきあげ雛などを展示している。豆田地区の廣瀬資料館、草野本家や隈地区の原次郎左衛門家を始めとする旧家や施設、老舗商店などで所蔵の人形各種を公開。期間中「青い目の人形パレード」、「豆田流しびな」などのイベントも行われた。



中央商店街では「雛・春まつり」を開催。空き店舗を利用して、市民から募ったひな人形を展示した。商店街に彩りを添えるイベントとして来年も開催予定



人形を眺めながら「ゆっくりとお茶を」。うれしいおもてなし

▲日田市中央商店街

人形店に聞くと！



(有)石松人形店 (日田市中央1-2-30)
石松こまり店長

「節句の祝い方や人形を贈る意味を“ひな人形のまち”で、しっかりと伝えていきたい」

「天領日田おひなまつり」は町おこしの一環として始まり、地元の旧家などが受け継いできたひな人形などを公開しています。

時期をあわせて、今年は当店が加わっている商店街で初めて「雛・春まつり」というイベントを実施しました。商店街の空き店舗のスペースを利用して、市民から募ったひな人形22セットを飾りました。初年度ということもあって、まだまだ足りないところが多かったと思います。来年はより充実させ、展示スペースを複数に増やして行う予定です。

まつりが行われるようになってから、「ひ

な人形のまち・日田」という認識が内外に広がりましたね。地元市民の間にも「ひな人形を飾ろう」という意識、「しまいこんでいた人形を出してみようか」という意識が上がってきたように感じます。

ただ、まつりやイベントでは、古いお人形をお見せすることがメイン。人形店として当店では、節句のお祝いの仕方のアドバイスや、お子さまに人形を贈ることの意味などを、接客を通してお伝えするように努めています。よい伝統が消えてしまうことのないよう、今後も節句の啓蒙活動に努力していきたいと思っています。

福岡県

八女市

「雛の里・八女ぼんぼりまつり」

八女市では「雛の里・八女ぼんぼりまつり」を開催（平成20年3月1日（土）～31日（月））。白壁通りの町家と大正町、清水町など商店街を合わせて百カ所以上で、ひな人形が展示公開。箱雛という郷土雛が、あちこちで見られる。会期中、パレード・供養祭・十二単衣と束帯姿の結婚式・コンサートのイベントが行われた。無料の巡回バスを走らせる配慮もあり、年々来場者は増加している。今年約3万人が来場。



箱雛
男雛と女雛がそれぞれ四角い箱に収まっており、箱に入れたまま飾る八女の郷土雛



ゴンタさん
新生児の等身大ほどの市松人形に、お宮参りの時の着物を着せて、雛と一緒に飾る

さげもん
7本の糸に7個の犬などの縁起物を吊るし、真ん中に柳川まりを2個配した飾り。雛の両脇に吊るす



柳川まり
福岡県指定特産民芸品。草木染めの木綿糸やリリアン糸などで刺繍を施したまり

key items

福岡県

柳川市

「柳川雛祭り」

「さげもんめぐり」

柳川市では「柳川雛祭りさげもんめぐり」を開催（平成20年2月11日（月）～4月3日（木））。年間を通じて約百三十万人が訪れる水郷でもある。川下りをする掘割の上や、商店街など随所で多数のさげもんが飾られる。さげもんの即売会や流し雛、ひな人形の里親探しなどが行われる。御花史料館の立花家の雛も、見所の一つ。会期後には「柳川ひな祭り」をテーマにした、フォトコンテストを開催。今年来場者は約30万人となった。

大分県

杵築市

「城下町杵築散策とひいな（雛）めぐり」

杵築市では「城下町杵築散策とひいな（雛）めぐり」を開催（平成20年2月9日（土）～3月9日（月））。会期中は着物着用であれば、有料観光施設が全館無料になる。縁結びバスツアーや人形創作コンクール、演奏会などが開催される。俳句を募集し大賞を決めるのも特徴的。九州豊後路の小京都と呼ばれる城下町の町並みを生かして、家屋敷や老舗の豪商に雛が展示されている。今年約2.5万人が来場した。



(株)フジキ工芸産業 (八女市津江711)

藤木茂 代表取締役

福田喜作 広報宣伝部課長

『『継続は力なり』、『まつりがあるから人形が売れる』との心意気で長く続けたい』

「雛の里・八女ぼんぼりまつり」には、実行委員としてずっと関わらせていただいております。せっかく地場産業としてひな人形を作っているのに、町で行うひな祭りが無い、というのは寂しいとも思っていました。「ひなの国 九州」の事務局は二年任期で開催地を持ち回りとしているのですが、今年5月より八女市が担当になっています。

ひな祭りは観光商材としてじゅうぶん、観光客を動員できる商材です。観光客一人ひとりの心の中にある思い出としてのひな人形と、それぞれのひな祭りを結びつけ

ば、大きなイベントとして活用できると思います。

八女人形会館も雛の見所の一つとして紹介されているので「雛の里・八女ぼんぼりまつり」の期間中は、一階の店内で協賛イベントとして、製作実演を実施しています。県内外から多数の方々が来られるので、大きなビジネスチャンスでもあります。箱雛を現代風に作った限定商品を販売しているのですが、ご好評をいただいております。また、お祭りをきっかけに遠方のお客さまとご縁ができたりと、素敵な出会いもありました。

(協力) 横山町町家交流館、八女伝統工芸館、(株)フジキ工芸産業、八女市商工観光課、このみ園

商店街に飾られている雛。家々の生活になじんでいる様子が窺える



一階
八女人形会館



九州では旧暦の3月3日まで雛を飾るので、この時期の店内は、三月物と五月物が同時販売される。左は販売されている箱雛



このみ園
1868(慶応3)年創業のお茶の専門店。「八女茶」の名付け親といわれている。創業以来の店舗を一部改築し、町家ギャラリーとして公開。会期中は随所に雛が飾られる



八女人形会館

一階は店舗、二階は藤木コレクションが展示されている。徳川家十一代将軍家斉の娘・末姫の輿入れの際に持参した雛をはじめとする徳川家の雛と、江戸時代の人形が見られる



(株)タルミ (柳川市蒲生970-6)

佐野均次 代表取締役

「お雛さまがあつてのさげもん
んです。文化継承のきっかけ
になっていると思います」

初節句を大事にする風習が残っているの
で、他の地方よりもお雛さまが身近だと思
います。また、大きいお雛さまを買って、
親戚や近所の人に見てもらうのが楽し
みでもありました。

「柳川雛祭りさげもんめぐり」には、ひ
な人形を提供する、という形で参加させ
ていただいています。駅前の商店などに、飾
りに行きます。さげもんはあくまでも、お
雛さまあつてのものです。さげもんを見て、
仕舞い込んでいたお雛さまを出して飾っ
てみました、ということもあります。親王飾
りしか持っていないから、三人官女が欲し
い、という方もいらっしゃいました。祭り
が良い啓発になっていると思います。幼稚

園や小学校の自由研究でも、アイデアい
っぱいのさげもんを作ったりして、文化継承
のきっかけになり、自然に定着しているの
ではないでしょうか。

ゴンタさんは、お腹の部分を押すと泣く
ようにできているんですよ。今はほとんど
売れません。着物を着せることができない
お母さんたちが増えているせいもあると思
いますけれど。

商店街では、さげもんを飾ってどこでも
「ご自由にお入りください」と、気軽に入
れるようになっています。手作りのさげも
んのバラエティーは豊富です。

流し雛やパレードなどもあり、見所がい
っぱいです。ぜひお越しください。



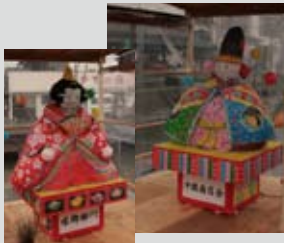
御花史料館

藩主立花家のお雛さまが
展示されている。七沢屋
の道具と、小さい雛や人
形がたくさん見られる

ショーウイ
ンに飾ら
れた雛。
柳川商店街
で見られ
る光景



小学生たちが作っ
たさげもんが飾ら
れている西方寺



掘割では大きな雛が川
くだりの客をお出迎え



目野酒造(株)
創業1890(明治23)年の酒蔵。築百二十年の
家屋で、ひな人形を展示。桃の節句と酒蔵開きの
時期が重なり、会期限定のお酒も売り出している。
駐車場が広く、ツアーの観光バスが次々に訪れる
ため、その効果は大きい



「おひなさま水上パレード」



(協力)目野酒造(株)、かんぼの宿柳川、西方寺、柳川商店街、御花、(株)タルミ